

特選 1 席

(本日のステージでの選者発表順)
題詠・自由題の順に掲載



● 正木ゆう子 選

天秤座と答へて風の猫じやつらし
その時は兎の穴に匿つて

愛媛 ほろよい
愛知 田中の小徑

● 小島 健 選

雪掘りてまた雪掘りて天見上ぐ
忘れもの取りに鳩の子潜りけり

新潟 大森 千代
東京 大川 千草

● 星野 高士 選

天高し息を吸ふため息を吐き
時計また遅れてをりし熱帯夜

東京 三村 清子
岐阜 堀尾小夜美

● 寺井 谷子 選

がうがうと松籟天に年木樵
大夕焼戦後が続きますやうに

兵庫 荻野 邦子
大分 富川 元女

● 堀本 裕樹 選

別天地と言ふ帰省子へ山の風
身に入むや友の最後のありがとう

宮城 吉田 博子
東京 宗田 利一

● 小澤 實 選

天に鳶地に冬耕の影一つ
波立てて歩くプールの一コース

茨城 草間 亨
埼玉 吉田 武夫

● 片山由美子 選

天地も一つ歳となり大旦
口に出すほどの寒さとなりにけり

愛知 舘野 茂子
群馬 石原百合子

● 稲畑廣太郎 選

鐘一打天地に秋の生まれけり
異次元をはしごする旅大昼寝

新潟 笠原佐千子
大分 松本みゆき

● 宇多喜代子 選

松の芯こぞりて朝の天を突く
夏至の日の垂直に立つものの影

長野 立川 光臣
徳島 飯田 醉亥

● 大串 章 選

天高し異国の孫と交信す
マルクスもケインズも古り落葉踏む

神奈川 宮崎 清子
山梨 難波 勲

● 高野ムツオ 選

天皇の影も八月十五日
露草や露草ほどの水の星

東京 曾根新五郎
東京 青木 孝子

● 西村 和子 選

天下取り損ねし父の昼寝かな
鷹渡る己の高さ守りつつ

宮崎 田代きみ子
香川 小西としじ

● 權 未知子 選

天下取り損ねし父の昼寝かな
卒業や運命線を見せ合うて

宮崎 田代きみ子
福井 村田 浩

● 宮坂 静生 選

弟が草鞋で渡る天の川
ゆつたりと机使ふや夜学生

秋田 佐藤智恵子
東京 森沢 悠子

● 坊城 俊樹 選

鶏頭花その天鷲絨に眠りたし
狼の消えて秩父の余寒かなし

大阪 岡本 戎
東京 飯泉善一郎

● 夏井いつき 選

青大将弁財天をのぼりゆく
木枯の泪のやうな岬の灯

広島 谷口 一好
栃木 龍 太一

● 岸本 尚毅 選

墳山の浮かれ鳥や天高し
向日葵や戦なき世の画学生

群馬 山口 桂子
東京 田中 和行

● 高柳 克弘 選

天瓜粉この指きつとピアニスト
東京は光の積木神の留守

神奈川 青木多津子
兵庫 庫 日野 久子

◆特選二席——自由題（選者五十音順）

稲畑廣太郎選 啓蟄や秒針走る花時計 五味 安徳

宇多喜代子選 ものの音ひとつ加はり水の秋 鶴田ちしほ

大串 章選 九回の裏なき試合夏終はる 高野 さち

小澤 實選 秋耕の深きが自慢老いの鋤 江崎 八郎

權 未知子選 くず湯吹く姓を違へて四姉妹 結城 あき

片山由美子選 春風や耳の形を褒められて 佐藤 羊子

岸本尚毅選 棒持てば童の心 蝌蚪の水 川副 康孝

小島 健選 家の音みな聞きわけて風邪の妻 田村 英一

高野ムツ才選 白息は消え言の葉は残りけり 田中 里香

高柳克弘選 火の国の月はあかがね鳥兜 有田けいこ

寺井 谷子選 大根とひ孫の育つ地球かな 高橋 芳枝

夏井いつき選 あの子つたらあの子つたらと水を撒く 広瀬 修平

西村 和子選 父だけが姿勢崩さず初写真 中谷 明子

坊城 俊樹選 鶏頭の髯アインシュタインの脳 曾我 節子

星野 高士選 立春の紙の音して鳥翔てり 草間 亨

堀本 裕樹選 月光や折れし大樹に黙禱す 三原真紀子

正木ゆう子選 誰か来よ春の嵐もやみたるに 戸田美智子

宮坂 静生選 治癒と書くかなはぬ願ひ星祭 黒山 敏恵